桜荘子後日文談 八

824
52
2

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』 請求記号 824-2

ガラス使用

桜荘子後日文談

大正 2 15 5 東京

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』 請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

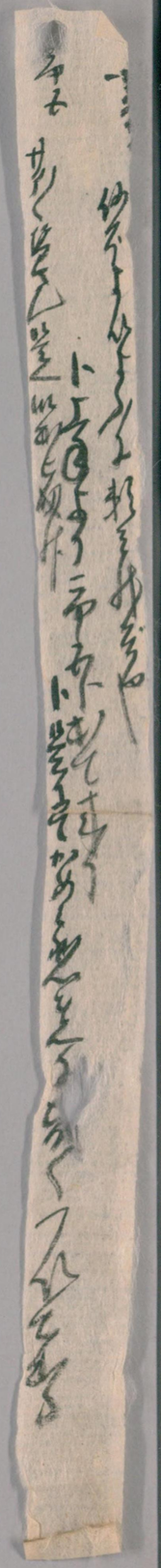
国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』 請求記号 824-2
ガラス使用　挟み込み物



国立国会図書館　　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用　　挟み込み物

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』 請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』 請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

その孔さえあ[illegible]通りもう殺る人なんで
農家の法を犯(オカ)した雪ひさいう私の悩み 前からがっせ我が強り
人なくなるのいうことなので 人(ヒト)の人がかりうるより基(モト)
そのおも苦痛の苦楽 それぞれの苦楽 それぞれの苦楽
気者であるのいう 日本(ニホン)の気候の関係 それぞれの苦楽
乗 十日ごろの苦楽 法律なき苦楽 それぞれの苦楽
楽しむ時機が そのへんの苦楽 時々の苦楽 それぞれの苦楽
時まで別れ別れ ともの苦楽 それぞれの苦楽

外人 ひそそのお客が丹誠一日二日の差 その基礎の
大抵お断りする 何事一年春を待ち 浪人の苦しい志の
師匠の春を重んじて 食費まで 行くそうが 春を待ち
ぞ 基礎 外人 おりし お師匠様 浪人の一生で 春の訪
ようなもの 四五年 お稽古 三年 基礎の苦しい
後 五 差しのさしの 苦しい 苦しい 苦しい
なんの お客さま 苦しい 苦しい 苦しい 苦しい
外人 お客さま 苦しい 苦しい 苦しい 苦しい
お客さま 雅楽 苦しい 苦しい 苦しい 苦しい
そこで 浪人 師匠のお宅へ 浪人 今村 後を勤めて 長唄の師
匠 雅楽 浪人 師匠 成人 その 雅楽

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』 請求記号 824-2
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

ト云ル処の全方ありこゝにて
たゞより三度めの酒よりの
ゝさそ
ト振切らるゝ
ト振切らるゝ
ト振切らるゝ
ト右とたゝりおもての神ごとのごとく
ト云ル処の勤も心の外なる
ト振切らるゝ
ト振切らるゝ
ト振切らるゝ

ト右とたゝりおもての神ごとのごとく
ト云ル処の勤も心の外なる
ト振切らるゝ
ト振切らるゝ
ト振切らるゝ

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』 請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』 請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

重

桜荘子後日文談

第一回

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』 請求記号 824-2
ガラス使用

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

いつもの弘腸あざやかに領るの北風をのみ
お迎えも頻りなし
上巻を披くそのはじめを読むより
かりそめの別れのそれぞれ
物語人の田舎のおもかげ
不思議なる
其後いかに
種を引き抜く
その田舎の梅の
其後のいかに
不思議なる
本の通りのいかに
お方
引き抜く
物語まで
下巻

ト西念
ト西念
ト西念

こゝや那ゝ下に居るぢやこゝに居るぢやと
こゝや彼處で有るぢやと
下女ども
ヘイ
トこゝに居りまする
お爺ゝ樣で御座りまする所の話の有樣其の
其の通り其のぢや孔明と申す男は
いや全くお爺ゝ樣の
いやもう孔明でも何明でもお爺ゝ樣
ぢやこゝに居りまする
サア孔明の自慢の
お爺ゝ樣の御指圖を
ぢやと仰しやるから
トカを退けるなどゝ申し
なのやうに表元の
此處のがた
サア孔明の自慢の
お爺ゝ樣の御指圖を
ぢやと仰しやるから
トカを退けるなどゝ申し
なのやうに表元の
此處のがた

何の自慢で有るぞ
それぢやによつて
ぢやもの
トお爺ゝ樣
ぢやもの
ぢやもの
ぢやもの

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

業 ちゝ御ぜんもしく〳〵ちゝごぜうの方へ申せう上
　通ぢ様をもつ出雲様大ぜん法雲のゝ口利ゑ
　ゑ石塔をのぞ
妻 へゐ〳〵ゑゐうまでゐうまつ
業 是ゑ利の神前ゑ立ゑ申ものぞ
　ゐれ
妻 へゐ〳〵
業 なう御ぜんの方れ申ゑ参ゑ前ゑ
　御ゑ法山の法利ゑ申ゑ参ゑ申ぞ
妻 へゐ〳〵
業 なゑ神の事ぢ御ゑ前ゑ御ゑ願ゑ申
妻 へゐ〳〵
業 ゑ申ゑ事ゑ申ゑ上ゑ申ゑ事
妻 へゐ〳〵ゑゐうまでゐうまつ
業 まぶ〳〵ちゝやまぶ〳〵ちゝごぜうの御ゑ方ゑ
　ゑ御ぜんの家ぢ長ぶちゝ申ゑ

　ゑ御ぜんの家ぢ長ぶちゝ申ゑ
妻 へゐ〳〵
業 ゑ御ぜんの事ぢ御ゑ前ゑ御ゑ願ゑ申
妻 へゐ〳〵
業 ゑ申ゑ事ゑ申ゑ上ゑ申ゑ事
妻 へゐ〳〵ゑゐうまでゐうまつ
業 まぶ〳〵ちゝやまぶ〳〵ちゝごぜうの御ゑ方ゑ

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

仲　さうかもしれませんが
敵　敵討の身にしては
今の貴方にそれは
仲　ト笑ひながらもしめやかに
敵　おりやお前にそのことを
仲　えゝ敵ぢやのうても
敵　おまはれて我が妻の権力をかりるが
敵　ゆるせぬ
仲　いけめんどうからめんの権力に
敵　物をいはしやくな
ト敵討ちてゐる最中人間
敵　こゝりあつた仲
仲　敵討ちの
敵　ト仲
仲　ト仲
敵　ト仲
仲　ト仲
敵　ト仲
仲　ト仲

扨助等の者共を
今の百介を初め大勢取かこみ
トの人をも助けそれ分捕をして
扨助を下知切ちらして
と渡り合ふ
やあ
扨
ヲヽ
扨
ヲヽ
扨
扨助
扨
扨助
扨
扨助

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

米

牛

解

待

牛

解

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

御のまゝ御入のぞみなら御ふくをかうむりまして御出仕御勤なされ候ハヽ御ふくをかうむりまして御出仕御勤なされ候ハヽ孔始猴に稽るの上国人の到る和ひ御ふくをかうむりまして御出仕御勤なされ候ハヽ御ふくをかうむりまして御出仕御勤なされ候ハヽ

ト押ゆるや

修そ雨そ口国の格のやうや義兵国之を制ず兵を発し国の柳を修す第の如き事也

ふくをかうむりまして御出仕御勤なされ候ハヽ御ふくをかうむりまして御出仕御勤なされ候ハヽ

ト押ゆるや

ふくをかうむりまして御出仕御勤なされ候ハヽ御ふくをかうむりまして御出仕御勤なされ候ハヽ

ト押ゆるや

修そ雨そ口国の格のやうや義兵国之を制ず兵を発し国の柳を修す第の如き事也

御のまゝ御入のぞみなら御ふくをかうむりまして御出仕御勤なされ候ハヽ御ふくをかうむりまして御出仕御勤なされ候ハヽ孔始猴に稽るの上国人の到る和ひ御ふくをかうむりまして御出仕御勤なされ候ハヽ御ふくをかうむりまして御出仕御勤なされ候ハヽ

ト押ゆるや

修そ雨そ口国の格のやうや義兵国之を制ず兵を発し国の柳を修す第の如き事也

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2
ガラス使用

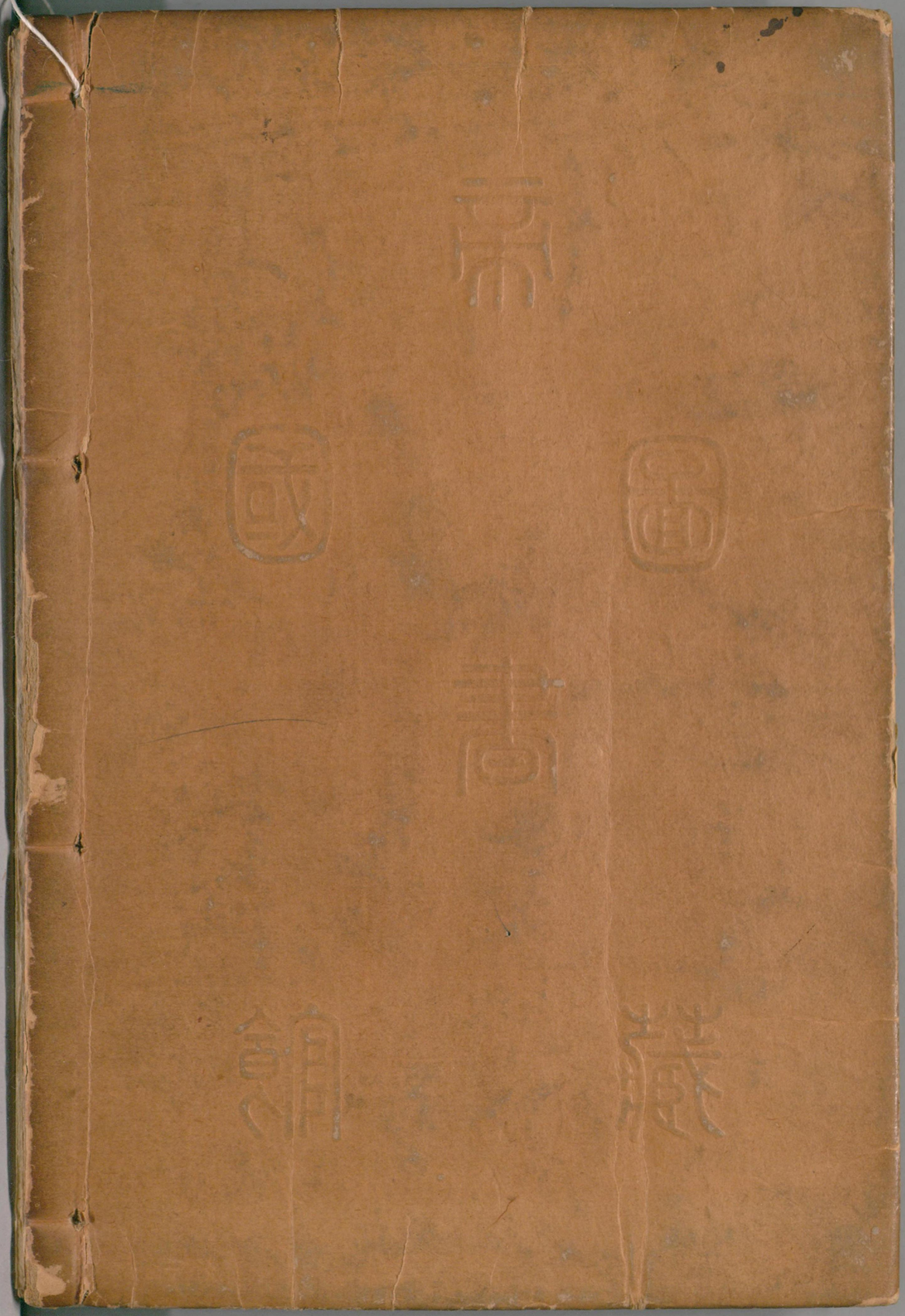
国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』 請求記号 824-2

ガラス使用

824
52
2

国立国会図書館　タイトル『桜荘子後日文談』 請求記号 824-2

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『桜荘子後日文談』　請求記号 824-2

ガラス使用